

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



YOUR

令和7年

一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第99号

育成会のこれから

さいたま市手をつなぐ育成会が誕生して早二十年、さいたま市が政令指定都市として大宮・浦和・与野市の三市合併を機に育成会も四十年・五十年の歴史ある三市育成会が合併、その後岩槻市が加わり現在に至っております。

各市育成会がそれぞれの特色を持ち、独自の活動を展開してきた中での突然の合併となりこれに関する賛否は当然のごとく、特に十区に分かれ行政に合わせるかどうかは、何度も何度も話し合いを重ねて、行政区画と合わせて十区の支部を設置することになりましたが、会員数減少での賛否両論の中、二区三区での協同での活動をすることでの合意に達しました。

現在会員の年々減少化は止められず、今後の活動に不安を感じているところです。

そんな中でも教育委員会を始めとする各行政のお力添えを頂きながら、療育機関や児童支援施設・支援学校などに声掛けをして、会員・非会員問わず、おしゃべりをしながら悩み事や課題をみんなで共有しながら考えしていく会【おしゃべりサロン】を年三回ほど開催しており、子育て中の若い保護者や支援者が参加されて、幅広い年齢層の方の意見のすり合わせを行う中から今後の課題が見いだせるのではないかと感じております。

毎回二～三名の若い方の入会もあり、とても心強く感じております。

その一方で、高齢化した会員の退会も多く会員減少の解消には至りません。

今後の課題として、法人として幅広く外部の協力団体との連携を視野に活動を進めていく必要があります。知恵を出し合い、討議していく必要があると思います。

あくまでも、基本に本人（当事者）の代弁者で。

加藤
シゲヨ



山口 明子さん



星野 美子さん

新役員紹介

副会長に任命されました。
よろしくお願ひいたします。

課長、社会福祉協議会事務局長、障害者協議会事務局長各氏にご臨席頂き、ご挨拶を頂戴しました。今年度も関係機関と協力し合いながら、本人と家族をとりまく環境改善と生活充実の為に活動して参りますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

五月三十日、埼玉県障害者交流センターにて、第十七回定期総会を行いました。会員の皆様のご協力のおかげで、全ての議案が承認されました事をご報告と御礼申し上げます。

総務

定期総会報告

四月二十三日

その後の体験や知的障がいについての説明には熱心に参加して頂きました。

今回は、小学校のふれあい学習に参加した折に聞いた、一人のメンバーの言葉に感銘したという、ふれあいプラザの担当者から、ご高齢でボランティア活動をされている方々に、知的障がいについて話をして欲しいと依頼をうけました。

今まで、小学生や企業の新人研修等で活動してきましたが、ご高齢の方、二時間という長い持ち時間も初めての事で緊張しました。

ボランティアの方々も身体障がいのことは分かるけれど、知的障がいのことは良く分からないとのことでしたので、今までの資料を全面的に練り直し、それぞれのメンバーの家族写真、エピソードを増やす等の工夫をしました。

休憩後は子ども達の小さい頃の話や、現在の様子を写真と共に紹介しました。質問や感想を沢山いただき、時間が足りないかなと心配になるほどでした。

親として忘れられないことは?という問い合わせもありました。

私たちの話を聞き、大変でしたね、頑張って、と励まして下さる方、涙される方もいらっしゃいました。

最初の不安は杞憂に終わりました。とは言え、親の苦労に注目が集まってしまい、障がいの特性や支援の仕方などを、もつと沢山伝えられたら良かつたかなど、反省点もありました。

最初はピカチュウの寸劇がずっと続くと勘違いされて「何を伝えたいの?」とのご指摘があり、私たちメンバーはドキドキでした。

挑戦していきたいです。願望

心にもバリアフリーを

みなさんは、こんな思いをされたことありませんか?

四十歳になる息子と買い物に出掛けた時の出来事です。大切な方へのプレゼントにいつも利用しているお店に行きました。

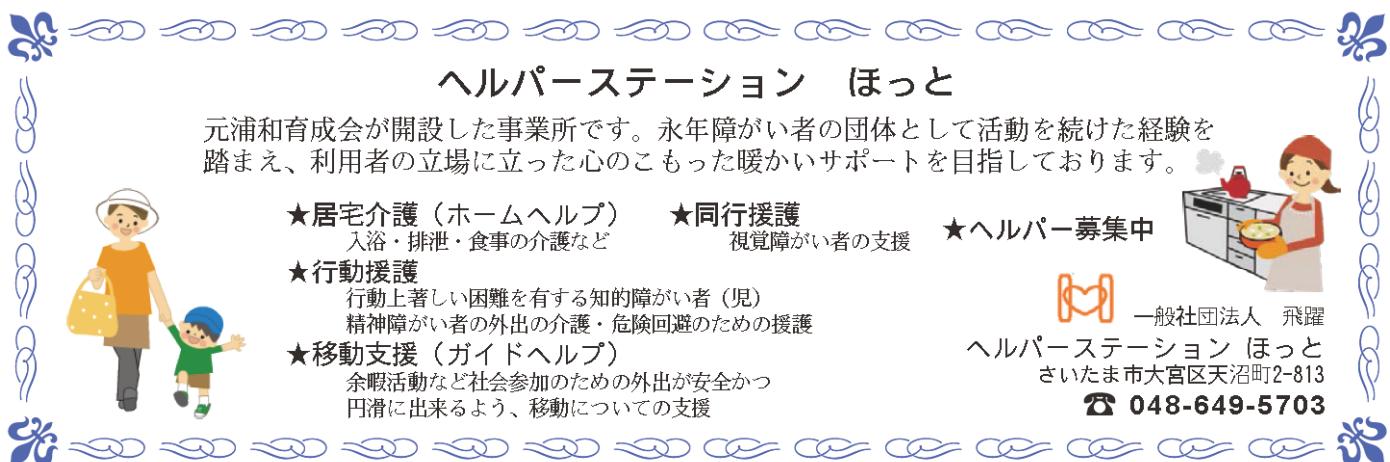
試供品を配っていたので、息子に声を掛けると「いいの?」と

言って列に並びました。順番が来た時の事、店員さんは息子の頭から足の先までなめるように何度も見つめ、無視して後ろの方に渡しました!

あまりのことに呆然としている息子の手を取り、立ち去りました。もう、悔しいやらかなしいやら:数時間たった頃、息子が悲しそうな顔で「僕はもらっちゃいけなかつたんだよね?」と言つてきました。何も言えず、一人で考えていたのかと思うと胸が苦しくなりました。

こんな出来事があり、改めて育成会のP & Aの活動がいかに大切かと考えました。

星野



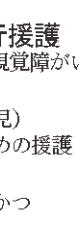
ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。

★居宅介護（ホームヘルプ）
入浴・排泄・食事の介護など



★同行援護
視覚障がい者の支援

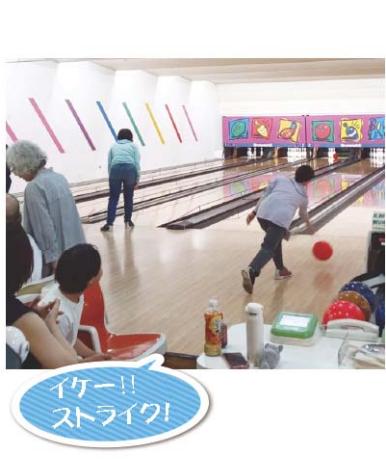


★ヘルパー募集中



一般社団法人 飛躍
ヘルパーステーション ほっと
さいたま市大宮区天沼町2-813
048-649-5703

当日は二十八名が参加し、ボウリングデビューのお子さんも一緒に、九十分の投げ放題を思いきり楽しみました。



第9回ドーナツ
ボウリング大会を
開催しました

六月十九日(日)、中浦和「浦和スプリングレーンズ」にて、ボウリング大会を開催しました。

次回の「どーなつ」は、八月
にピザパーティーを予定していま
す。食べて話して、また楽しい
時間を一緒に過ごしましょう。
たくさんのご参加をお待ちし
ております！



グループホーム見学

六月四日、桜区「ひだまりビ
レッジ」に行つてきました。

ワンルームアパートを借りあげたグーループホームです。

自由度は高く、自分の気持ちや体調をある程度伝えられる事が必要です。又入居の条件としてラインを使用できる事と訪問看護を付ける事が必須です。人のいる時間帯は夕方から翌日の午前十時までです。

利用者に食事を提供する前に必ずラインをしてから渡します。対面して様子を確認しますが、住居には入りません。

食事内容はご飯味噌汁は手作り、おかげで宅配の冷凍食品を湯せんしたものです。朝食の提供時間は七時から八時くらいと聞き、早い出勤の方には間に合わないと思いました。体調不良のときは世話人から訪問看護に連絡が行きます。

好きな時間にお風呂に入れる
し家族はいつでも訪問できます。
今後増えていきそうですね。

谷地



